

ステンレス鋼の実体応力腐食割れ試験

ステンレス製品の実部品をそのまま浸漬し、応力腐食割れ試験を行います。

試験の特徴

- Uバンド試験片のみならずステンレス製品の実部品をそのまま浸漬し、応力腐食割れ試験を行うことで、新製品の開発やクレーム発生時の実証腐食試験を支援いたします。
- 加工済み製品や製品の切断が困難である場合の応力腐食割れ性の評価に向いています。

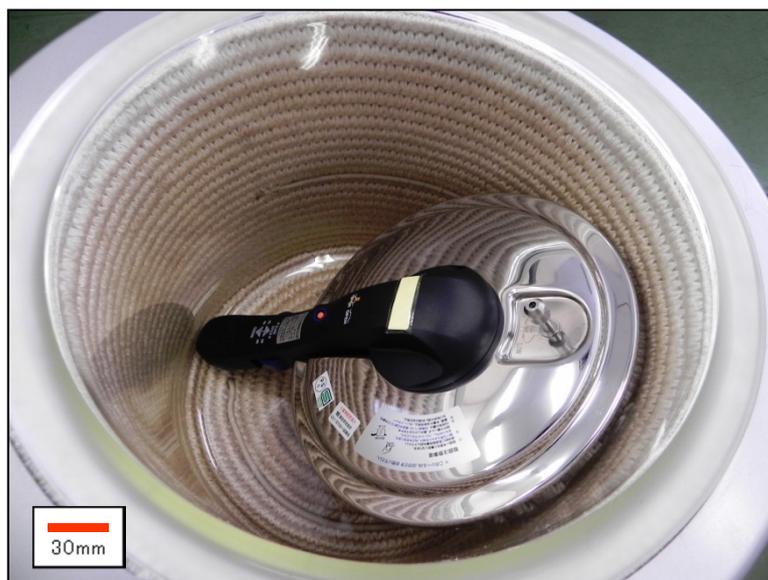
試験機の仕様

槽内寸法	内径φ300mm × 高さ300mm (使用可能範囲 内径φ280mm × 高さ230mm)
温度	室温～160℃
試験の種類	42%塩化マグネシウム応力腐食割れ試験 30%塩化カルシウム応力腐食割れ試験 (その他の試験もご相談下さい)
試験体	Uバンド試験片に限らず実部品での試験も可能 (サイズについてはご相談下さい)

試験装置外観



槽内の状況(ステンレス製の鍋蓋のセッティング例)



試験の対象となる製品例

- ・ プレス加工製品
- ・ 圧着加工部品
- ・ 溶接使用の加工製品(溶接部の残留応力部の評価)